

**令和3年度 山形県公立大学法人**  
**第2回経営審議会**  
**第2回教育研究審議会（米沢栄養大学）**  
**第2回教育研究審議会（米沢女子短期大学）**  
**議事録**

**1 日 時** 令和3年9月27日（月） 13:29～14:40

**2 場 所** オンライン開催

**3 出席者**

**<経営審議会>**

（出席） 学内委員：阿部理事長、佐々木理事、大和田理事、金光理事、菌部理事、松井理事

学外委員：清野理事、宮原委員、黒田委員

（欠席） 学外委員：加藤理事

※委員10名中9名出席、定款第16条の規定により会議成立

**<教育研究審議会（米沢栄養大学）>**

（出席） 学内委員：阿部学長、大和田理事、金光理事、成田委員、高橋委員、大益委員

学外委員：清野理事、吉池委員、渋谷委員

※委員9名中9名出席、定款第20条の規定により会議成立

**<教育研究審議会（米沢女子短期大学）>**

（出席） 学内委員：阿部学長、菌部理事、松井理事、高橋委員、鈴木委員

学外委員：清野理事、結城委員

（欠席） 学外委員：中島委員

※委員8名中7名出席、定款第20条の規定により会議成立

**<監事>**

（出席） 五十嵐監事、山上監事

**<事務局職員>**

（出席） 菊川次長、阿部課長、鈴木課長、齋藤専門員、小林主査、永峯主査、金谷主事

**4 議事録署名人の指名**

阿部理事長から、黒田委員（経営審議会）、大益委員（教育研究審議会[栄養大]）、鈴木委員（教育研究委員会[米短大]）の3名が議事録署名人に指名された。

**5 報 告**

**(1) 新型コロナウイルス感染症に関する対応について**

事務局から、報告資料1により報告がなされた。

結城委員から、学生の接種率ほどのくらいかの質問があった。これに対し、阿部理事長から、現在、確認を進めているところだが、栄養大で5割から6割の間くらい、短大ではそれよりも少ない印象であるとの説明がなされた。結城委員からは、ワクチン接種についての学生の不安解消とともに接種率の向上に努めてほしいとの発言があった。

## (2) 山形県公立大学法人評価委員会による令和2年度及び中期目標期間業務実績評価について

事務局から、報告資料2により報告がなされた。

宮原委員から、米短大の「志願者確保に向けた今後の取り組みに期待したい」との評価に関連し、大学の魅力をどのように社会に伝えていくか、そのためにどのような方策を講じていくのか、また、どのような活動スケジュールで展開していくのかとの質問があった。これに対し、菌部理事から、大学の魅力発信については先生方の学外での講演や公開講座等について、今年度から生活文化研究所で集約し、速やかにHPで公開するよう対応していること、また、現在は新型コロナの影響で志願者確保に向けた高校訪問や学生特使の派遣が難しい状況であり、県内では合同説明会への参加、県外には出身学生の修学状況のレポートや大学関係資料等の送付による対応を考えているとの説明がなされた。また、阿部理事長から、学内の会議でも入試対策についてはしっかり対策を講じるよう話をしているとの説明がなされた。

## (3) 令和4年度入学者選抜について

事務局から、報告資料3により報告がなされた。

## (4) 令和3年度卒業予定者の進路状況について

事務局から、報告資料4により報告がなされた。

清野理事から、昨年よりは良い状況とのことだが、求人企業数について、昨年、一昨年と比べてどうなのか、特徴的なことはあるかとの質問があった。これに対し、事務局から、栄養大の求人企業数はR3年度108社（県内26社、県外82社）、R2年度は188社（県内22、県外166社）、R1年度は168社（県内31社、県外137社）となっており、県内企業数に大きな変動はなく、県外企業数の減少が大きな変動要因となっていること、また米短大の求人企業数はR3年度131社（県内32社、県外99社）、R2年度173社、R1年度249社（県内66社、県外183社）となっており、県内・県外企業数とも大きく減少しているとの説明がなされた。清野理事からは、県内就職率向上との命題もあるので、今後の取り組みに期待したいとの発言があった。

吉池委員から、第3期の中期目標・計画策定の中で、栄養大の県内就職率について議論があり、目標になったと思うが、県内就職を促す取り組みや採用側への働きかけについて質問があった。これに対し、大和田理事から、県内企業へのバスツアーを行い、企業の魅力を伝える活動を行っていること、また学生は良い就職先があれば県内に残りたいという感触はあるが、学生にとって魅力ある就職先を準備するのが難しいとの説明がなされた。

## 6 協議

### (1) 令和3年度補正予算（案）について

事務局から、協議資料1により説明がなされ、案のとおり承認された。

### (2) 山形県立米沢栄養大学教員の任用（採用）について

事務局から、協議資料2-1及び2-2により説明がなされ、案のとおり承認された。

### (3) 山形県立米沢女子短期大学教員の人事に関する手続き規程の一部改正について

事務局から、協議資料3により説明がなされ、案のとおり承認された。

## 7 その他

### (1) 次回以降の審議会の開催日程について

事務局から、その他資料1により説明がなされた。

### (2) 食料支援事業について

事務局から、学生に対する食料支援事業を11月に実施予定であるとの報告がなされた。

### (3) その他

吉池委員から、大学院について、ストレートマスターが少ない状況かと思うが、大学院卒業のメリットが何なのか、プロフェッショナルとして働くうえで、大学院修了生がロールモデルとなり、スキルアップできることが伝われば志願者確保にもつながると思う。そうした修了者の事例はあるかとの質問があった。これに対し、大和田理事から、大学院卒業生が職場に戻ってから自身のこれまでの研究実績をまとめ、公表している事例があるとの説明がなされた。成田委員から、1期生が修了したところであり、アフターケアしながら修了生が業績を出していくのを支援するとともに、大学院の実績としてもPRしていくのが大事であること、また、栄養大の新卒から院へ進んだ初めての1年生がおり、来年度はインターンシップなどから就職にどうつなげていくか、大学院としてサポートしていきたいとの説明がなされた。

黒田委員から、管理栄養士の活躍の場は病院のほかにも老人施設などいろいろとあり、卒業生もやりがいをもって働いている。そうして活躍している様子や自立して生きていく素地を養うことができる大学であることをアピールすることが大事である。また、「米沢女子短期大学」について、特に高校生は「女子」ということに違和感、古いイメージをもつようであり、そのイメージを払拭するためにも、短大生の活躍の可能性、高卒と短大卒では活躍の場が違うこと、本学は編入率が高いという特徴があることなど、米短大の良いイメージづくりや社会の中での役割をアピールしてほしいとの発言があった。

#### 【配付資料】

- 報告資料1 新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- 報告資料2 山形県公立大学法人 令和2年度業務実績評価書  
山形県公立大学法人 中期目標期間における業務実績評価書
- 報告資料3 令和4年度入学者選抜について
- 報告資料4 令和3年度卒業予定者の進路状況について
- 協議資料1 令和3年度補正予算（案）について
- 協議資料2-1、2-2 山形県立米沢栄養大学教員の任用（採用）について
- 協議資料3 山形県立米沢女子短期大学教員の人事に関する手続き規程の一部改正について
- その他資料1 次回以降の審議会の開催日程について

議長 理事長(兼)学長

議事録署名人

議事録署名人

議事録署名人